

きずな

令和2年 第59号
 社会福祉法人 賀光会
 救護施設 賀光寮
 障害福祉サービス事業所
 (生活介護) ポプラ
 発行人：川端 健高
 藤井寺市藤井寺4-11-8
 TEL 072-955-0653
 FAX 072-955-0905
 E-mail : gakoukai@m5.kcn.ne.jp
 http://www5.kcn.ne.jp/~gakoukai

あけ
 おめ
 とう
 ます
 ます



令和二年



※本誌のきずなは、年賀状の代わりにもさせていただきます。

新年ご挨拶

理事長 梶本 徳彦

新年明けましておめでとうございませう。旧年中は当法人の運営に利用者の方々、ご家族をはじめ地域の皆様のご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。また、職員の皆さんも一年間ご苦労様でした。令和2年(2020年)は、「庚子」です。庚(かのえ)は植物の成長が止まって新たな形に変化しようとする状態を指し、子(ね)は干支の12の動物の中で神様の前に到着した1番目の動物です。本来は丑が一番のはずだったのを、丑の頭に乗っていた子が飛び降りて一番になったという話があります。ですが、それはさておき12支のサイクルのはじめであり、時刻は23時から午前1時をさし日付の変わり目にあたりませう。子年にあやかっけて初心に立ち返り、賀光会の理念に基づいて、利用者の方々の目線に立つて運営しなければならぬとの思いを強くしてまいります。

さて、今年一番のイベントは東京オリンピック・パラリンピックでしょう。大勢の人は東京に行く時間もチケットを入手するお金もありませんが、せめてテレビで楽しみませう。世界のアスリートたちのこの一番に賭ける真剣勝負の気迫と想像を絶する練習を積んできた美しい姿は私達に大きな感動を与えてくれるでしょう。福祉や医療を取り巻く環境は、団塊の世代が後期高齢者に達する2022年を控え、全世代型社会保障検討会議が設置されるなど改革が検討されることとなります。しかし、そのこととはそのこととして受け止めながらも、今生活している私達一人一人の日々の暮らしにおいて、少しでも楽しくお互いに労わりながら仲良く過ごしたいものです。本年もよろしくお願いたします。

日帰り旅行 〜かに道楽〜

支援員 松原 満茂



うわーやっぱ！にやけるわ♪

賀光寮では、恒例になつた秋の日帰り旅行の「かにツアー」が12月2日に、かに道楽松原店にて行われました。今回参加された人は、利用者が12人、職員4人の計16人でした。午前11時にお迎えのマイクロバスが賀光寮まで来て下さったので、お昼前にはお店に到着出来ました。待合で少しの間待つっていると、個室のテーブル席の方に案内していただき、みんなが着席すると最初に施設長から挨拶と乾杯の発声があ



……… (かにの身を取るのに必死！)

り、その合図に合わせて(かに会席コースの)昼食会が始まりました。目の前に並んだ新鮮で旨味たっぷりのかに料理に舌鼓を打ちながら「か」の格闘(カニを食べること)に夢中になっておられました。今年のかに会席の内容は前菜、かに酢二種盛り(ズワイかに・タラバかに)、かに茶碗蒸し、かにしゃぶ小鍋、焼きかに、かに天ぷら、かににぎり寿司、お吸い物、デザート(ケーキ・アイスクリーム)のたいへん豪華なものでした。毎年のようにかにツアーに参加している人、また生まれて初めてかに会席

コースを食べたと言う人もいて、かにしゃぶとお寿司が美味しかった、焼きカニやお刺身などいろいろ種類のかに料理が次から次に出て来て最高でした、食べやすく殻をカッターで取っていたので良かった、めったに食べられないかに料理は美味しく戴いたし、みんなと一緒に食べるのが楽しかった、もう一度行きたい、来年のかにツアーを楽しみにしていると言われていました。冬の風物である「かにツアー」は、みなさんにとってたいへん良かったようですね、喜んでいました。

日帰り旅行 〜箕面温泉〜

支援員 松原 満茂

街路樹が秋色に染まってきた11月21日に、賀光寮では、恒例の日帰り旅行の「温泉ツアー」を実施しました。今年も参加希望者が多かった箕面温泉スパーガ



温泉、食事楽しんできまーす！

ーデンの入浴と食事を満喫する事になりました。当日は晴天に恵まれ、車輛二台に分乗し目的地の箕面まで出発です。

箕面までの行ききの道路は、渋滞していましたが、無事に箕面温泉スパーガーデンに到着し、昼食までの時間、敷地内や、売店を散策しました。散策後は、みなさんの楽しみにしている昼食時間となりました。バイキング形式で、和食、洋食、サラダ、アイスクリーム、プチケーキ、ソフトドリンクが食べ放題のため、参加者は、おかわり



飯、めっちゃ美味しいやん！最高！

に大忙しでした。食後は、温泉に入浴し敷地内を散策されていました。また、大衆演劇やカラオケを堪能され、それぞれの方が思い思いにリフレッシュユされています。あいにく、天候が晴天から曇り空に変わりましたが、展望台からの景色は最高でした。施設に戻り、参加した皆さんの感想を聞くと、「食べすぎた」「楽しかった」と喜んでいました。これからも、楽しく安全な外出行事を計画していきます。

合同文化事業 〜歌唱披露〜

支援員 青柳 達雄

令和元年11月14日(木)に大阪市都島区の「太閤園」で開催された、第20回大阪府救護施設合同文化事業に参加しました。「俺達は仲間だ、楽しく参加しよう」と決め、舞台発表に利用者10人と職員1人が参加しました。



上を向〜いて、歩こう〜♪
涙がこぼれないよ〜うに♪



ご飯の時間!
美味そうやな〜早く食べよう!

歩こう」、2曲目は「365歩のマーチ」です。

練習を始めたころは、なかなか声が出なかつたのですが、歌うパートを決め、全員がリードボーカルという気概をもって歌を歌う気持ちを持ち、本番では、練習の成果が発揮でき、良く声が出ていました。

舞台で整列をしたときには、緊張しているようでしたが、全員での挨拶がすむと緊張のほぐれた様子がうかがえ、真剣な表情の中に歌うことを楽しませている様子が見えました。展示の部では、陶芸、七宝、書道の展示を行いました。陶芸では、干支「鼠」の土鈴、

灯籠、茶わん、コーヒーカーップ、平皿、箸置きを展示し、七宝作品はペンダント、ブローチ、タイピン、トンボのオブジェを展示し、書道では書く直前のインスピレーションを表した作品10点を展示しました。



来年は、舞台発表の部、展示の部の両方の優勝を目指して取り組んで参ります。



人前で歌を披露するのは、
恥ずかしかったけど、楽しかったわあ〜♪

イベント湯 〜ゆず湯〜

支援員 岸 瑞記

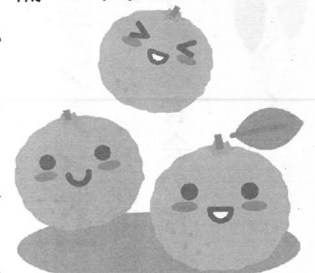
賀光寮では、利用者の方々に季節を感じ、風情を楽しんでいただくための行事として、イベント湯を実施しています。12月には、イベント湯「ゆず湯」を行いました。今回のイベント湯で使用したゆずは、昨年度賀光寮の畑に植樹した木に実ったものを使用しました。ゆずの木に、小ぶりながら60〜70個ほどの「ゆず」がしっかりと実っていましたので、それを全部使いました。良い香りを出すために、ゆずにはキリを使つて穴をあけ、その「ゆず」は、利用者の方に製作していただいた竹の飾りの中に入れて、浴槽に浮かべました。入浴された利用者の方に感想を伺うと「いい匂いでした」、

「気持ちよか



「つた」と言われまし
た。また、入浴後の水分補給として、イベント湯に入浴された方に柚子ジュースを提供させていただきました。こちらも好評で、利用者の方から、「さつぱりとして美味しかったです」との感想をいただきました。
次回は、5月にイベント湯「しょうぶ湯」を行う予定です。浴槽に「匂い菖蒲」を浮かべる以外に、ジャーマンアイリスやカキツバタなどの季節の花々を浴室に飾り付ける予定です。

次年度も色々と工夫しながら、利用者の皆さんに楽しんでいただけるようなイベント湯を行っていききたいと思います。



第40回賀光会 バザール大成功!!

実行委員長 伊藤 昌弘
「第40回賀光会バザール」は、天候に恵まれ、秋晴れの暖かい日に開催することが出来ました。

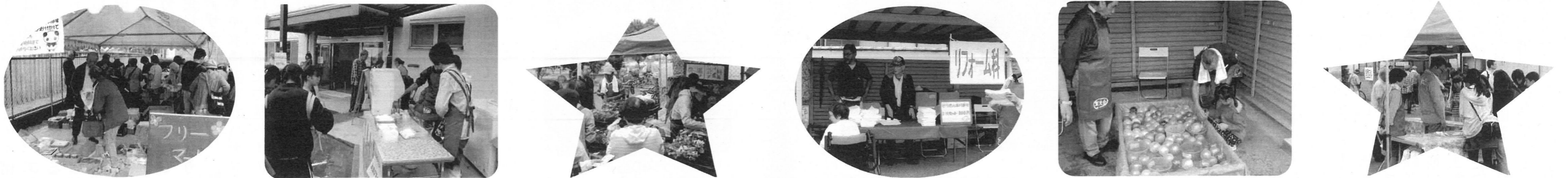
特設舞台では、地域住民の方々による、よさこい踊りや和太鼓、マジック、腹話術などのパフォーマンスが披露されました。また、近隣の福祉事業所や福祉関係の団体、地元小学校の方々には、フリーマーケット等の出店をしていただきました。

当法人からは、焼きそば、カレーライス、唐揚げ、ソフトクリーム、ヨーヨー釣り、あてももの、ジュース販売などの模
擬店に加えて、陶芸科や七宝クラブの作品、花の苗、手作りの雑巾の販売をさせていただきました。

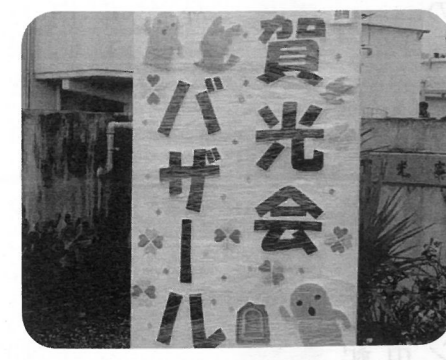
地域のたくさんの方々にお越しいただきましたので、臨時の駐輪場や駐車場はあふれんばかりでした。

すっかり地域の方々に、秋の行事として定着しました賀光会バザールは、色々なパフォーマンスの披露、フリーマーケット等の出店、模擬店での販売、バザールにお越しいただいたご来場者の方の自転車等の誘導や整理等、地域の方々やボランティアの皆さんのボランティアの力で、バザールをご協力によって、バザールを盛り上げ、ご来場者の方に喜んでいただいています。本当にありがとうございます。

これからも色々な楽しいアイデアを出し合い、継続してバザールを開催することで、地域の方に賀光会を知っていただき、地域に開放され、信頼される「賀光会」にして行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



賀光会バザール ～賀光寮・ポプラ～ 令和元年10月14日(月・祝)



**ご協力
ありかとう
ございまして**
地域の方々や関係する方々から、心のこもったご寄贈、ご寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。

【ボランティア】
個人ボランティアの皆様
ポプラ保護者会の皆様

【アトラクション】
和太鼓
ひびき様
琉球民謡
涼風会様

腹話術
藤井寺キンダース様
よさこい鳴子踊り
藤井寺どんとこい様

【出店協力施設等】
松原市
若い肢体障がい者の会様
藤井寺西小学校様
まつしの様
わつと様
福島 菊一様

社会体験 海遊館

支援員 大坪 馨

ポプラでは、社会体験として11月18日、20日、25日、26日の4日間で海遊館に行ってきた。私が行ったのは20日と26日の2回でした。

まず出迎えてくれたのはアクアゲート。カラフルな魚やサンゴを見ながら通り抜けると見えてきたのは大きなジンベエザメの像。像の前でスタッフに写真を撮ってもらい、いざ中へ。車いす利用の利用者の方がおられるので、3階から8階まで続く長いエスカレーターを横目に、スタッフの案内でエレベーターを使い、まずは8階へ。8階にはカワウソとオオサンショウウオの紹介コーナーがありました。残念なことには私が行った日は、2回ともカワウソはいないか寝ていたため、動いている姿を見ることはできませんでした。



ジンベエザメの前でハイ、チーズ♪

1を降りてすぐの水槽には、優雅に泳ぐ海鳥、エトピリカ。水槽端に集まるエトピリカを追いかけながら、続く水槽は水面に顔を出すアシカやアザラシです。集団で力強く泳ぐアシカの姿に皆圧倒されていました。泳ぎ回るアシカやアザラシの水槽から一転、

次の水槽のアカハナグマは木の洞でお休み中の2匹が、ぴったり寄り添いながら寝ている姿にまつたりしつ、次の水槽ではイグアナがバスキングスポットでバスキング中、そしてその隣にいたのがカピバラ。丁度水槽掃除の時間だったらしく、飼育員さんの後ろをちよこちよこ歩き回っていました。次の水槽にはペンギン、オウサマペンギン、ジェンツーペンギン、アデリーペンギンの3種類のペンギンが種族関係なく集まって涼んでいた。泳いでいたり、次のカマイルカの水槽では泳いだり設置されたゴム紐を噛んで遊んでいたりと自由に過ごしていました。

6階の目玉は大きな大きなジンベエザメ、悠々と泳ぐ姿は圧巻の一言、ジンベエザメの他にもイトマキエイやシユモクザメなど大きな魚たちがたくさん泳ぐ姿に圧倒されつつ、次の階へいきました。

5階ではマンボウがのんびりとイカと泳いでいました。その他の水槽にはアカウミガメ、アシカ、アザラシ、イルカが水の中を泳ぐ姿が!!

4階では今まで見てきた水槽の底を見ながら、4階最後のタカアシガニの水槽へ、「おもしろそう」「カニ鍋」と話しながら、エレベーターを使い3階へいきました。

3階は去年できたばかりの海月(クラゲ)銀河、真



今から、海遊館行ってきまーす♪

つ暗な中、ライトアップされ、ふわふわと漂うクラゲは神秘的でした。海月(クラゲ)銀河を通り過ぎ北極圏エリアでは、クリオネの泳ぐ水槽を見ながらふと上を見上げるとアザラシのお腹が。アザラシを見上げつつ次の階です。

エレベーターから降りた途端、冷たい空気が吹いてきて、出迎えたのはイツカクジユウの像。像を通り過ぎると、寒い中泳ぎ回るのはワモンアザラシの姿です。ワモンアザラシを見ながら、次はイワトビペンギンへ、ふれあい体験水槽でエイやサメの背中にタッチし、実体験した利用者は「サメはざらざらした。エイはつるつるやつた」と大興奮でした。

最後に企画展示室を通

り過ぎ、ゴールとなり、利用者も、「楽しかった」「イルカやペンギン、アザラシがわいかった」など大満足な様子でした。

ふれあい キャンペーン

支援員 柏木 和紀

12月3日(火)藤井寺市の「障害者ふれあいキャンペーン」に参加しました。藤井寺市役所の職員、市内の障害者施設の利用者・職員がイオンモール藤井寺店の入り口で行いました。配布物は、ゆるキャラ「まなりくん」のケースに入った絆創膏です。参加された利用者の方は、「おはようございます!ふれあいキャンペーンやっています。よろしくお願ひします。」と一生懸命声を出しながら啓発活動を行っていました。



頑張って配ったよ〜♪

みんな集まれ 大運動会!

支援員 柏木 和紀

10月31日(水)に藤井寺市民体育館で行われた藤井寺市障害者施設連絡会主催の「みんな集まれ、大運動会」に参加しました。今年で9回目の参加となり、移動の車内では、利用者の皆さんは意気揚々とした様子でした。

種目は、「金魚釣り」、「玉入れ」、「ストラックアウト」、「空き缶積み」、「テーブルボリング」、「バスケットボール」の6種目と、全員で参加する、「お菓子食い



めっちゃ高く積んだらな!!

ポプラの種目の順番が来ると、利用者の方々は、「よし、行くぞ!」といわんばかりの勢いで向かい、「玉入れ」では、「いっぱい入れろぞ!」、「空き缶積み」では、「一番高く積みぞ!」と意気込んでいました。さらに盛り上がったのは、施設職員対抗の玉入れです。その種目も点数に反映される



運動会めっちゃ楽しかった♪

競争」、「サッカーゲーム」の2種目です。6種目の得点の合計点と全員で参加する「サッカーゲーム」の順位点と今回から新しく追加になった競技の施設職員対抗の玉入れの点数で競います。



いっぱい玉、入れよ~♪

ため、それぞれの施設の利用者の方々は応援に熱が入り、「頑張れ!」「もっと入れて!」と声援が飛び交い、それに応えるように職員も必死に玉を籠に入れました。全競技が終わり、結果発表です。結果は、第2位に相当する「勝てなかったで賞」でした。結果を聞くと、ガッツポーズをする利用者の方や涙を流して悔しがっている利用者がいました。



団子をこねこね、こねこね♪

おやつ作り 〜みたらし団子〜

支援員 柏木 和紀

11月22日(金)に8・12月を除く月に行っているおやつ作りを行いました。今回は、みたらし団子です。

おやつ作り担当の利用者の方々と団子を作っていきます。まずは、白玉粉に水を入れてこねていき、ある程度固まってきたら、団子状に丸めていきます。沸騰した鍋に入れて、ゆがいていきます。団子が浮き上がってきたら取り出して冷まします。

次にみたらしのたれを作っていきます。しょうゆ・さとう・みりん・片栗粉をとろとろになるまでかき混ぜていきます。できたら団子にみたらしのたれをかけて出来上がりです。担当の利用者の方々は、「おいしくできるように頑張ろう」と張り切りながら上手に団子をこねたり、たれがとろとろになるまで一生懸命かき混ぜたりと楽しそうにされていました。出来たみたらし団子は、利用者全員で食べ、「団子がかもちもちしてて、そこにみたらしが絡まると、すごくおいしい!」や「〇〇さん、頑張つて作ってくれてありがとう。おいしいわあ」と感想を述べながら食べられていました。それを聞いた担当の利用者の方々は、照れくさそうな表情をさらしていました。



おいしくな~れ
おいしくな~れ♪

陶芸クラブ 土鈴作り

支援員 松村 剛史

賀光寮陶芸科では、葛井寺からの注文を受け、9月から12月まで干支土鈴の製作を行っています。今年も500個の作成依頼を受け、土鈴の型づくりから絵付けまで、陶芸作業に従事されている利用者の方とボランティアの方と職員と一緒に考え、製作を行いました。



ゴシゴシ、ゴシゴシ！
表面をきれいにしています♪

土鈴製作にあたり、まず型を作り石膏型をとるのですが、型を抜きやすいようにいろいろな工夫を行っています。石膏型の完成後、型抜きを行い、乾燥させた



ぬりぬり、ぬりぬり！
土鈴に色を付けています！

後で、絵付けを行っていきます。絵付けでは、汚れがつかないように養生し、慎重に絵付けをしていきます。土鈴は一つひとつ手作りですので、絵付けした土鈴を並べて見るとどれも違った表情をしています。絵付けまで完成した土鈴は、葛井寺の分は住職に文字入れをしていただき、賀光寮の分は施設長に文字入れをしていただきます。

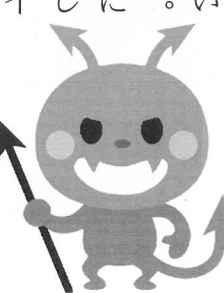


感染症 予防対策

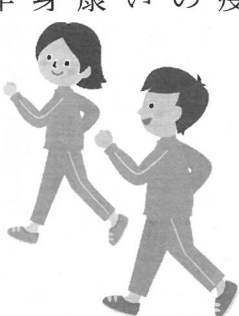
看護師 六反 美枝



日に日に寒さが増してくる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。空気が冷たく乾燥した冬は感染症に注意が必要です。この季節に流行してくるのが、インフルエンザやノロウイルス、肺炎などです。インフルエンザを始めとするウイルスや病原菌は、免疫が落ちた高齢者の方にとっては大敵であり、時に命の危険に関わるリスクにもなり得ます。それらの感染予防として、手洗い、うがい、有効です。うがいには、最近では、こまめにお茶(カテキン入りの緑茶や紅茶などが有効的)を飲むと良いと言わ



れている。のどに付着したウイルスを洗い流すと同時に乾いたのどの加湿もできず、お腹に流れたウイルスは胃の中で殺菌されません。(食中毒の菌には無効です。)30分〜1時間に1回、または人ごみの中に入った後はすぐにお茶などを飲むと感染予防になります。最後に、最も重要なのは免疫力の高い健康な身体作りです。栄養のとれた食事やしっかりとれた睡眠をとり、笑顔の多い毎日で免疫力をアップさせましょう。元気に冬を乗り切り、暖かい春を迎えられるようお体に気を付けてお過ごし下さい。



編集後記

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。今回の「きずな第59号」では、賀光会バザールを中心に行事の記事を掲載させていただきました。掲載している写真については、写っている方々には了解をいただいています。この9月に、とても大きく盛り上がったのがラグビーW杯です。予選では、強豪アイルランドに逆転勝利するなど、4連勝で1次リーグを突破。初の8強に進出し、日本の列島を熱狂させました。その時のスローガンの「ONE TEAM」は、令和元年の新語・流行語大賞に選ばれました。今年も、東京オリンピックが開幕します。今年も日本列島が熱狂と興奮をもたらしてくれることでしょう。非常に楽しみです。